

第5回国連水と災害に関する特別会合(オンライン)
“よりレジリエントで持続可能なポストコロナ社会に向けたよりよい復興を目指して”
2021年6月25日(金)

開催概要

1. 背景と目的

第5回国連水と災害に関する特別会合は、よりレジリエントで持続可能なポストコロナ社会の実現に向けて、水と災害問題や都市化、食糧問題、環境、気候変動といったその他の関連する開発問題について地球規模での意識高揚と行動の促進を図るために2021年6月25日(金)に開催される。国連水と災害に関する特別会合は2013年より隔年で国連本部において開催されてきたが、第5回目の開催となる本会合は初めてのオンラインでの開催となる。

新型コロナウイルス感染症が全世界に広がり猛威を振り、世界各国の社会、経済などあらゆる面で大きな影響を及ぼし、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の目標達成に向けた取り組みの進捗を滞らせている。このため現在の新型コロナウイルス感染症蔓延の状況下では、新型コロナウイルス感染症感染の拡大緩和に各国指導者、政府、市民の関心・注目が集中している。一方で、水関連の災害の脅威は、新型コロナウイルス感染症発生以前と同様に現在も続いている。都市化や気候変動などの影響を受け、近年世界各地で発生する水災害では数千人規模の死者が出るなど、毎年深刻な被害を各地に及ぼしている状況にある。水災害と新型コロナウイルス感染症の同時発生が相乗的に深刻な災厄をもたらすことを防ぐために、緊急に行動を興す必要がある。

水災害及び新型コロナウイルス感染症による現在の世界的危機の回避のために政治指導者、防災や新型コロナウイルス感染症に対応する責任者、及び全ての関係者の意識高揚、経験と良い事例の共有、実践的な助言が求められている。水災害及び新型コロナウイルス感染症によって引き起こされた社会の現在、そして将来的な予測される状況に対応するための政治的なコミットメントと、これに合致した必要な資金や適切な政策が必要である。水災害と新型コロナウイルス感染症の二つの災厄に対処するための経験と教訓の共有、政策調整、行動の戦略化を今、行っておくことは、将来貧困の撲滅と全ての人のための持続可能で公平な成長に関する国家及び国際目標の達成を図るうえで大きな違いがある。

第5回国連水と災害に関する特別会合は、水と災害に関し国連加盟国の間でハイレベルな政治意識の高揚と行動の促進を図ってきたこれまでの会合の流れを継続する。この中で、今回の会合は、新型コロナ感染症での様々な教訓に基づき、持続可能でレジリエントかつ気候変動に適応できる新型コロナウイルス感染症流行が収束した後の世界の実現に向けて、経験の共有と行動の促進に焦点を置いた議論を行う。本会合の議論の成果は、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大下での水関連災害管理を含む様々な開発問題への取り組みへの経験から得られた有効な教訓や革新的なアイデア、共通認識に基づき、新型コロナウイルス感染症により進捗が遅れている世界的な開発目標の達成に向けた取り組みを加速するための一步を示すことになるとともに、2021年国連ハイレベル水会議、第4回アジア・太平洋水サミット(2022年)、そして「水の国際行動の10年—持続可能な開発のための水2018-2028」中間レビュー国連会議といった主要な水関連の国際会議にインプットしていくことで、水関連災害管理の重要性を国際社会に訴えていく。

2. 成果

- 議長サマリー
- 主要な国際会議への提言

3. 主催・共催

ハンガリー、インドネシア、日本、メキシコ、オランダ、韓国、タジキスタン、水と災害に関するハイレベルパネル（HELP）、政策研究大学院大学（GRIPS）

4. 開催日時

2021年6月25日（金）

5. 開催時間

- 1) 科学技術パネル：75分予定
(休憩: 45分)
- 2) 全体会合: 105分予定
(休憩: 15分)
- 3) ハイレベルパネルディスカッション: 90分予定
- 4) 閉会：10分

6. 開始時刻

科学技術パネル：アメリカ東海岸（ニューヨーク）5時30分、中央ヨーロッパ時間11時30分、ジャカルタ16時30分、マニラ17時30分、日本・韓国18時30分
全体会合：アメリカ東海岸（ニューヨーク）7時30分、中央ヨーロッパ時間13時30分、ジャカルタ18時30分、マニラ19時30分、日本・韓国20時30分
ハイレベルパネルディスカッション：アメリカ東海岸（ニューヨーク）9時30分、中央ヨーロッパ時間15時30分、ジャカルタ20時30分、マニラ21時30分、日本・韓国22時30分

7. 開催様式

ウェブ会議

8. 言語

英語（全体会合のみ日本語通訳あり）

9. 議事次第案

(1) 科学技術パネル (18:30-19:45)

ファシリテーター

- グレチェン・カロンジ 四川大学災害危機管理学部長
- 小池俊雄 水災害・リスクマネジメント国際センター (ICHARM) センター長

プログラム

- セッションの紹介
- 開会
 - 開会挨拶：田中明彦 政策研究大学院大学学長
 - 基調講演：许唯临 (シュウ・ウェーリン) 四川大学副学長・水理学・山地河川工学国家重点研究所所長
- パネリストによるプレゼンテーション
 - シャミラ・ナイア・ベドウェル 国際連合教育科学文化機関 (UNESCO) 自然科学局事務局局長補
 - エレナ・マナエンコバ 世界気象機関 (WMO) 事務次長
 - リカルド・メナ 国連防災機関 (UNDRR) 所長
 - ブランカ・ヒメネス・シスネロス メキシコ国家水委員会 (CONAGUA) 前所長
 - ジョイ・ジャクリン・ペレイラ 東南アジア防災研究イニシアティブ (SEADPRI-UKM)

(休憩：5分)

- パネリストによる討論
- まとめ

(休憩：19:45-20:30)

(2) 全体会合 (20:30-22:15)

開会挨拶

- ハン・スンス 水と災害に関するハイレベルパネル (HELP) 議長・元韓国国務総理
- アントニオ・グテレス 国際連合事務総長
- ヴォルカン・ボズクル 第75回国連総会議長

基調講演

- 日本国 天皇陛下
- アーデル・ヤーノシュ ハンガリー大統領
(休憩：5分)
- エモマリ・ラフモン タジキスタン共和国大統領
- モハメド・イルファーン・アリ ガイアナ共和国大統領
- シェイク・ハシナ バングラデシュ首相
- スウェーデン王国ヴィクトリア皇太子殿下

テーマ別メッセージ

- ダニロ・テュルク 元スロベニア大統領、水と平和に関する世界ハイレベルパネル議長、ジュネーブウォーターハブリード政治アドバイザー
- ウシ・アイト ドイツ・アフリカ財団会長／元国連水と衛生に関する諮問委員会副議長、議長

- 廣木謙三 HELP コーディネーター：HELP「強靱なコロナ後の社会構築のための指針」及び「水と災害に関する世界レポート 2021」発表

(休憩: 22:15-22:30)

(3) ハイレベルパネルディスカッション (22:30-24:00)

モデレーター

- コーラ・ファン ニューウェンハウゼン＝ヴァイベンハ オランダインフラ・水管理大臣

パネリスト

- バスキ・ハディムルヨノ インドネシア公共事業・国民住宅大臣
- バンバン・スサントノ アジア開発銀行ノレッジマネジメント及び持続可能な開発担当副総裁
- 赤羽一嘉 国土交通大臣
- ウィリアム・グラハム 米国陸軍工兵隊副司令官
- ジルベール・ウングボ UN-Water 議長・国際農業開発基金 (IFAD) 総裁
- ペッテリ・ターラス 世界気象機関 (WMO) 事務局長
- ハワード・バムジー 世界水パートナーシップ (GWP) 議長
- ロイック・フォーション 世界水会議 (WWC) 会長
- イルッカ・サルミ：欧州委員会人道援助・市民保護総局長
- 河野正道 経済協力開発機構 (OECD) 事務次長

(4) 閉会 (24:00-24:10)

- 「結果のための水対話ーボン 2021」からのメッセージ：トーマス・シュトラーターテンヴェルト ドイツ環境省
- 閉会挨拶：劉振民 (リュウ・ジェンミン) 国連経済社会問題担当事務次長
- 閉会 ハン・スンズ HELP 議長・元韓国国務総理